

会員の皆様

JSPEHSS 常務理事の関根正美です。

本年度の定時社員総会が、6月20日に代議員、オブザーバーの先生方のご出席をいただき、議案の承認を得て無事に終了しました。当日の議案と資料につきましては、以下でご覧いただけますので、ご一読ください。

https://taiiku-gakkai.or.jp/wp-content/uploads/2026/06/jspe_2026soukai.pdf

総会の内容として、以下の点をお知らせいたします。

1) 第76回大会（北翔大学）について

実行委員会より参加申し込みの状況の報告をいただきました。現時点で1,200名を超える申し込みをいただいています。公募を行なった会員企画に多くの応募があり、会場の確保ができることで全件採択となりました。これも含めて魅力的なプログラムが予定されています。参加申し込みがまだの方は、ぜひ参加申し込みをお願いいたします。

2) 第77回大会（東京学芸大学）について

ここ何年かの開催時期とは異なり、2027年10月5日（火）、6日（水）、7日（木）の日程で開催されることが報告されました。この日程につきましては、総会での報告に先立ち昨年10月の理事会にて主管校から会場確保の点などについての丁寧な説明をいただいた上で、理事会にて慎重に協議を行い決定しました。平日の開催になりますが、多くの皆様にご参加いただけますよう、組織委員会、実行委員会、理事会とで連携しながら進めて参ります。

3) 80年誌特別委員会について

2030年の第80回大会時での発行を目指すべく、特別委員会の設置が承認されました。今後は特別委員会で記念誌の骨格及び編集委員会の構成を検討し、編集委員会へ引き継げるよう準備を進めることとなります。

4) 2025年度事業の監査において、事業・会計ともに問題なく運営されているとの結論をいただいた上で、理事会の方針や学会の取り組みなどが会員や社会に対して十分伝えられていないのではないかとのご意見をいただき、総会の監査報告で監事の先生からその旨のご報告もいただきました。スポーツ基本法をはじめとする政策への関与、教職免許法の改正問題、研究倫理の問題、熱中症をはじめとする運動と健康の社会的な問題、そして本学会が信頼される学術研究を行うと同時に現実的な問題にどう応えていくかの問題（まさに領域横断・応用研究部会の問題）など、これらに現在どのような対応・活動をしているのかを発

信する課題をいただいた形です。もちろん、これまでも学会として然るべき対応を行なってきたのですが、理事会としましては、この理事会通信での発信に加えて、広報委員会を中心に会員及び社会へのさらなる発信方策・体制を検討していきたいと考えています。ただし、会員の個人の自由な発想と行動による研究活動が学会活動の根幹であることに変わりはありません。会員の皆様の研究活動をベースにして、さらに学会の存在意義を示していくことが求められているのだと思います。

以上